

第 19 期 第 6 回 八尾市図書館協議会会議録

日 時 平成 28 年 3 月 23 日 (水)  
14 時 00 分～16 時 07 分  
場 所 八尾市立青少年センター 集会室

出席者 (敬称略)

松井 純子 (大阪芸術大学教授)  
村瀬 憲夫 (元近畿大学中央図書館長)  
松下 玲子 (大阪市立中央図書館利用サービス担当課長)  
新居 佐登子 (八尾市社会教育委員)  
北田 信吉 (八尾市青少年育成連絡協議会)  
岡本 彩希 (八尾市 P T A 協議会)  
松井 祥一 (八尾市校長会：八尾小学校長)  
池田 多瑛 (公募市民委員)

事務局

伊藤 均 (教育次長)  
松岡 浩之 (生涯学習部長)  
南 昌則 (八尾図書館長)  
永田 敏憲 (山本図書館長)  
柿本 和彦 (志紀図書館長)  
西村 隆男 (八尾図書館館長補佐)  
筒 暎子 (八尾図書館利用サービス係長)  
佐古田 明奈 (八尾図書館資料係長)  
丸谷 奈緒美 (八尾図書館資料係副主査)  
小畑 由季 (八尾図書館司書)

住本 和美 (龍華図書館長：指定管理者)  
岡 告美 (龍華図書館館長補佐：指定管理者)

1 議題

- (1) 平成28年度八尾市立図書館事業計画等 (案) について・・・資料 1
- (2) 平成28年度八尾市立図書館予算について・・・・・・・・・・資料 2
- (3) 龍華図書館の運営について・・・・・・・・・・資料 3

2 報告

- (1) 図書館利用者アンケートの結果について・・・・・・・・・・資料 4
- (2) 妊婦を支援する図書館サービスについて・・・・・・・・・・資料 5
- (3) 今東光資料館の企画展について
- (4) その他

○佐古田係長（司会） それでは定刻となりましたので、ただいまから第19期第6回八尾市図書館協議会を開催させていただきます。

本日は、公私御多忙のところ、当協議会に御出席を賜りまして、まことにありがとうございます。本日御都合がつかず、欠席の委員は井上委員、吉川委員、田中委員でございます。また、浦上教育長は別公務が入っておりますので、本日は欠席となります。

それでは、開会に当たりまして、伊藤教育次長から御挨拶申し上げます。

○伊藤教育次長 教育次長の伊藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、年度末の大変御多忙中のところ、第19期第6回八尾市図書館協議会に御出席を賜り、まことにありがとうございます。役所の場合、年度末ということで、教育長は学校の人事異動の内示ということで、本日の2時からということになっておりまして、公務の都合で大変申し訳ないことでございますけれども、出席がかないません。会長を初めとして、委員の皆様方によろしくということ、ことづかっておるところでございます。

それでは、本日の会議の開催に当たりまして、私のほうから一言、御挨拶をさせていただきますと思います。

さて、第19期の協議会でございます。平成26年4月30日が新八尾図書館の開館、それから昨年8月の龍華図書館の開館、龍華図書館につきましては、管理運営形態として指定管理者を導入させていただいたところでございます。このように第19期につきましては、開館に伴うさまざまな御論議をいただいたところでございます。市民の皆様方が図書館を利用しやすい環境整備をしていく、さらに機能を向上させていくということで、いろいろ御論議いただきまして、おかげさまをもちましてこの2年間、八尾図書館、それから新しい龍華図書館、あるいは図書館全体として利用状況、非常に多くなってございます。併せて、利用者から御好評をいただいております。そういう意味で、この第19期の2年間、八尾市の図書館、八尾の図書館にとりまして大きな転換期、新しいスタートを切る期間となったというように感じておるところでございます。

しかしながら、図書館がサービスをさらに充実していくためには、現状をしっかりと検証を行い、我々評価を行っていく必要があるというように考えておるところでございます。そのため、本日はこの2年間の図書館運営の総括として、龍華図書館の運営を中心といたしまして、図書館4館体制によります図書館サービスについての評価の御意見を頂戴いたしまして、4月からの図書館サービスの充実に反映してまいりたいというように考えておるところでございます。本年度の図書館協議会、本日第19期の図書館協議会にとりましても、本日が最後の会議となってまいります。委員の皆様方におかれましては、2年間の協議会委員として、さまざまな観点から御意見をいただきましたこと、この場をおかりいたしまして、深くお礼を申し上げますとともに、今後とも図書館全般に対しまして、忌憚のない御意見を頂戴できればと考えておるところでございます。

以上、甚だ簡単ではございますが、会議開催の御挨拶にかえさせていただきます。どうもありがとうございます。

○佐古田係長（司会） ありがとうございます。

協議案件に入ります前に、まず資料の確認をさせていただきます。資料1、平成28年度八尾市立図書館事業計画（案）、資料2、平成28年度八尾市立図書館予算について、資料3、龍華図書館の運営について、こちらは資料3、3-1、3-2、3-3とございます。資料4、図書館利用者アンケートの結果について、こちらは資料4-1、4-2が

ございます。資料5、妊婦を支援する図書館サービスについて、及び今東光資料館から企画展示のチラシを配付しております。以上について、お手元でございますでしょうか。

それでは、協議進行のほう、松井会長よろしくお願いたします。

○松井会長 皆様、こんにちは。本日は本当に天候のいい中、図書館協議会のために御足労いただきましてありがとうございます。済みません、座ったままで失礼しております。

伊藤次長のほうからも、今期の締めくくりの会ということで、丁重な御挨拶をいただきましたけれども、本日も協議のほう、よろしくお願したいと思います。

それでは、お手元の次第に基づきまして進めさせていただきます。議題の(1)ですが、平成28年度八尾市立図書館事業計画等(案)についてということで、これを、では事務局のほうから説明をお願いいたします。

○西村館長補佐 それでは、事務局のほうからお手元の資料に沿いまして、御説明をさせていただきます。

資料1、平成28年度八尾市立図書館事業計画(案)でございます。お示ししております資料1につきましても、図書館サービス計画の基本目標に沿いまして、個別の取り組みの内容をまとめたものでございます。

それでは、事業計画につきましても簡単に御説明をさせていただきます。申し訳ございません、取り組み内容のところにも二重線を引いた部分につきましても、前年度と比較して変化のあったものを記載してございます。また、28年度において特色のあるものを中心として御説明をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

御説明させていただきます前に、1点訂正をさせていただきます。申し訳ございません。4、市民に開かれた図書館、裏面、の3、運営への市民参加の促進、3、市民や利用者動向、ニーズ等の把握におきまして、文中の中に意見箱となっておりますけれども、正しくはこれは提案箱でございます。訂正のほうをよろしくお願いたします。

それでは、基本目標1から御説明のほうをさせていただきます。基本目標1、地域の情報拠点となる図書館としまして、ハイブリッド化の促進、貸出予約サービスの充実、レファレンスサービスの充実の三つの方向性からは、市内4館体制での資料の購入、今東光資料館や地域情報コーナーにおける情報発信等、提供しているところでございます。

基本目標2、市民生活を豊かにする図書館としまして、市民生活を支える情報提供の充実、多様な学習機会の提供、市民の活動を広める場づくり、地域自治形成の支援の4つの方向性からは、公共機関や地域のまちづくり協議会等の活動情報の収集、提供、八尾図書館に市民の学習の場となる学習室を継続し、龍華図書館においても共同研究室を学習室として引き続き提供いたします。また、引き続き市民活動団体の活動支援、情報提供に努めてまいります。

基本目標3、全ての市民が利用しやすい図書館としまして、全市的な図書館サービスの展開、利用者に応じた図書館サービスの推進、図書館情報のわかりやすい発信と提供の三つの方向性からは、引き続き龍華図書館では休館日を火曜日とし、月曜日の開館を実施いたします。また、龍華図書館の開館後の移動図書館サービスについての検討を進めます。特に八尾市全体の施策の基本方針としまして、健康づくりの推進、未来の八尾づくり、子育て、子育て支援の充実という基本方針がございます。図書館におきましても、利用者に応じた図書館サービスの推進の中で、妊婦の胎教活動を応援する取り組み、つどいの広場への司書の派遣、健康づくりの観点から、八尾図書館において健康相談会を実施してまい

ります。あわせて、平成28年4月施行の障害者差別解消法の対応につきましても、状況に応じて対応してまいります。

基本目標4、市民に開かれた図書館としまして、運営体制の整備・充実、専門職員の資質・技術の向上、運営への市民参加への推進の三つの方向性からは、指定管理者による図書館運営を継続するとともに、各図書館において地域特性や利用者動向、ニーズに応じた取り組みを進めます。また、研修会の相互実施などを通じて、資質向上を図るとともに、広聴メールや提案箱の設置により、利用者ニーズの把握をいたします。

以上、雑駁な説明でございますけれども、よろしく願いいたします。

○松井会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明に対して何か御質問、あるいは御意見でも結構ですので、委員の皆様からお出しただければと思います。よろしく願いします。

池田委員、どうぞ。

○池田委員 済みません、これの2の市民生活を豊かにする図書館の1のほうで、公共機関や地域のまちづくり活動情報の収集、提供とあるんですけども、この地域のまちづくり活動の情報収集というのは、具体的にどういった情報のことを指してるのでしょうか。

○松井会長 お願いいたします。

○西村館長補佐 お答えします。地域の情報ということですけども、今ただいま地域まちづくり協議会のほうから出されている報告の文書などを八尾図書館のほうでも配架させていただいているような形になっておるんですけども、今後とも地域情報の各まちづくり協議会のほう、今後も活動の内容であるとか、その辺の部分ですね、随時更新していくということで、担当のほうから聞いておりますので、随時そのあたりも併せて入れていくような形で考えております。

○池田委員 それは何かパンフレットだったりとか、そういったものをつていうことですかね。

○西村館長補佐 活動の報告内容であるとか、活動の案内であるとかつていうのを聞いてはおるんですけども、今現状入っているのは、こういった活動をしていますつていうことの報告のものを入れておるんですけども、次年度に関しまして、また新たに入れていただけるということで伺っております。

○池田委員 じゃあ、提案なんですけれども、つどいさんなんかはされてるまちづくり教室つていうのがあるんですけども、そこで地域の住人の方が知っているポイントとかをまとめたマップとかをつくられてるんですね。そういったものを、例えば龍華なんかは周辺に史跡がたくさん点在しますので、そういったものを図書館でも案内できるような環境にあれば、それぞれされてる活動がつながるんじゃないかなと思うので、ぜひ御検討いただきますようお願いします。

○松井会長 ありがとうございます。

他にございませんでしょうか。

北田委員、お願いします。

○北田委員 済みません、龍華図書館で学習の場を提供するというようになってますんですけども、これは今現在どういうふうを実施されているのでしょうか。申し上げますと、2-2ですね。ちょっと我々わかりませんので、済みません。

○松井会長 お願いします。

○西村館長補佐　お答えします。龍華図書館で行われている学習室の提供ということで御質問いただきました。この件でございますけれども、龍華図書館のほうに共同研究室というお部屋があります。そちらのほうの予約が入っていないときに、学習室として利用いただけるというような形になります。

○北田委員　ということはあれですか、自習とかできる部屋ですと、こういう意味でしょうか。

○西村館長補佐　そうですね、ですから共同研究室として予約が入っていない場合については、学習室ですから、自習室として御利用いただける形になります。

○松井会長　よろしいですか。

他の方、いかがでしょうか。

どうぞ、池田委員。

○池田委員　済みません、4の市民に開かれた図書館のほうから、1、運営体制の整備・充実、BDSの設置による貸出手続未処理本への対応ということで、たしか前回年間3,000冊ぐらい紛失というか、わからなくなるものがあると聞いたんですけれども、大分減ったんでしょうか。

○松井会長　いかがでしょうか。

じゃあ、館長、お願いします。

○南八尾図書館長　BDSでの不明、適正な貸出手続せずに出ていく本を予防する一つの考え方で導入しておるんですけれども、当初そのBDSが入る前というのは、おっしゃるとおり不明に持ち出しされた可能性のある本も含めて3,000冊、全館であったというところです。しかし、今回この1年、2年間、件数的には非常に減ってきてはおります。今年、2月から3月にかけての曝書で不明本の統計処理をしておるんですけれども、詳細な数字はちょっと今持ち合わせてないんですけれども、数的にはもう1,000件前後ぐらいにまで、減っておるという状況になっております。

○松井会長　ありがとうございました。

他の方、いかがでしょうか。

松下委員、お願いいたします。

○松下委員　2点あるんですけれども、まず1点目が、裏面の3の2の1のところで、妊婦の胎教活動を応援する取り組みの実施ということがあるんですけれども、こちらについては後ほどの報告のところになる分ということで考えてよろしいですか。じゃあこちらで伺うということで。

2点目なんですけれども、同じく①と②にそれぞれ八尾図書館において健康相談会等の実施っていうふうにあるんですけれども、図書館においては医療行為というか、そういったことは全然できないものですから、情報としては提供できるんですけれども、どなたか協力してそういったことを実施されるのかどうかということですね。

○西村館長補佐　お答えします。八尾図書館のほうで、健康相談会の実施ということで書かせていただいております。これにつきましては、市全体の事業の中で、今各出張所のほうに保健師のほうを配置しております。保健師のほう健康相談会に乗ってる、健康相談を受けてるという状況になってます。八尾地区におきましては、福祉会館でこれまで行っておったんですが、より集客の見込める図書館に保健師さんが来ていただいて、健康相談会を実施していくという形になります。ですから、今高齢者と子どもの成長というと

ころの欄、二つ入れておるんですけれども、当然子どもの成長に関する部分も保健師さんに乗っていただきますし、高齢者の方の健康相談にも対応しますよという形で考えております。

以上です。

○松井会長 はい、どうぞ。

○松下委員 ちょっと合わせてなんですけれども、大阪市立の中央図書館のほうでも、まちの保健室っていうことで、保健師さんが月に1回だけ来てくださって、相談に乗ってくださるような状況なんですけれども、図書館としてもそれぞれいろんな医療に関する本をその場で利用者の方に提供するといつて、図書館も一緒になって何か実施なさるせっかくの場所なので、そのことも考えられたらどうかなっていうふうをお願いしたいと思えます。

○南八尾図書館長 先ほどの補足になりますけども、健康相談会を実施するにおいて、健康の相談を提供するというのを含めて、それと実際にこの健康相談会を実施する時間帯に合わせて、乳幼児がもう少し八尾図書館を利用しやすいような環境、乳幼児に対応するお話し会の実施であったりとか、そういった小さい子どもとそれを抱えた保護者、お母さん方が図書館に足を運んで、そのときに健康相談も受けやすいような、その健康相談会だけを単体で開催するのではなくて、その開催に関連して、乳幼児を図書館へ来てもらえるような、他のイベントもその時間帯に合わせて、相乗効果を発揮できるような取り組みをしていきたいとは思っておりますし、当然先ほど言いましたように、子どもに対する健康の、育児に関するお母さんの相談の本であったりとか、育児の子ども成長に合わせた本であったりとか、そういったものも今回購入を増やしていきたいというふうには考えております。

○松井会長 よろしいですか。

○池田委員 はい、ありがとうございます。

○松井会長 他の方はいかがでしょうか。

松井委員、お願いします。

○松井祥一委員 3の2の①のところなんですけども、小学校とか院内学級の司書派遣、学校図書館サポーター研修への派遣、それから地域の学校園やNPOとの連携というふうにあるんですけれども、この点に関しまして、これまでの取り組みと、それから今後の取り組み計画みたいなことを教えていただけたらと思います。

○西村館長補佐 お答えします。小学校の学校図書館等ですね、これまでも学校図書館に対しまして、学校貸出であるとか、団体貸出のほうで多くの小学校さん、御利用をいただいております。この部分につきましても、当然今現状、より使いやすいような形で団体貸出の取り決めですね、見直しもさせていただいておりますし、今後より御利用いただけるよう、よりご利用いただきやすいような形で取り組んでまいりたいと考えております。

併せて、学校図書館のサポーター研修とか、司書派遣ということで上げておりますけれども、学校に対する部分で、学校図書館での取り組みについて、図書館としてどういうふうな形でサポートしていくかというのも出てくるかと思えますので、これまでもサポーター研修として本の修理であるとか、そういった研修もさせていただいたところなんですけども、さまざまな部分で学校図書館をサポートできるような形で考えておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思えます。

○松井会長　　いかがですか、よろしいですか。

○松井祥一委員　　今後はですね、貸出、それから本の修繕の支援とかいうことに加えまして、子どもたちがより本に親しむような取り組みをまた学校園とも連携を深めていただけるようお願いしたいと思います。

○南八尾図書館長　　若干補足になりますけども、松井校長先生、松井委員がおっしゃっていただいている中で、一つは八尾図書館と八尾小学校ができるだけ連携をしながら読書通帳を全小学生に持ってもらうとか、また八尾小学校の生徒さんが八尾図書館で学校図書の授業をやるとか、そういった公立図書館が隣接している小学校の連携をしながら、さまざまな取り組みを先行的に八尾小学校においてさせてもらってきた経緯がございます。そういったところも含めまして、各4館体制の中で近隣の小学校と、これまで一律的な図書の貸出であったりとか学校図書の貸出とか、そういった一律的なことではなくて、やはり地域に近接している小学生がより図書館に日常的に無意識の中でも足が運んでもらえるような、そういう日ごろの中でできることからいろいろ、遊び心をまぜながら連携を図っていくべきだなと考えておりますので、また各委員さんのほうからも小学生が図書館に足を運びやすいような雰囲気づくりをするために、図書館は本を置いとくだけではないのでね、そこで友達同士触れ合ってもらったりとか、いろんな方々と触れ合うとか、そういったこともできる場だと思っておりますので、そういった連携ができるような提案はまた期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

○松井会長　　ありがとうございました。

他の方はいかがでしょうか。ございますか。

池田委員、どうぞ。

○池田委員　　何度も申し訳ありません。ちょっとこの項目には上がってないんですけども、小学校との連携というのを今館長も強くおっしゃったんですけども、龍華図書館や志紀図書館というのは中学校も隣接してまして、多分前回もお願いし、提案として上げたかと思うんですけども、中学生の利用時間についてですね、夕方5時までというのはやっぱり早いような気がします。この龍華図書館のほうの利用状況とか、後の資料にもありますけども、ここの中でも小学生、12歳までの分はかなり利用者数多いのに、中学校になると激減しているというのも、物理的に行けない状況をつくってしまうというのもやっぱり考えていただいたほうがいいのかと思っております。

済みません、あと1点なんですけれども、4、市民に開かれた図書館、こちらのほうの3の、協議会委員への市民参加、公募による委員募集の実施というところで、これも提案なんですけれども、今市民の公募枠っていうのが2席あると思うんですが、それとは別に、例えば学校図書館ボランティアの方とか、図書館ボランティアの方を1人枠で確保していただくというのも、より議論が発展するのかなと思っておりますので、ぜひとも御検討をお願いします。

○松井会長　　ありがとうございました。

今のことについては。

○南八尾図書館長　　前半の提案されてます中学生が17時以降1人で、子どもだけでは来れないことの緩和の提案ですけども、これも以前に池田委員さんから質問があって、浦上教育長のほうからお答えさせていただいてたんですけども、青少年健全育成の観点から、やはり5時以降子どもだけの公共施設へ入るということについては控えていきたいとい

うふうに答弁させていただいたことがあると思います。図書館だけをもってですね、そういった全体的な健全育成の観点を緩和するというのもやはり難しい点がありますので、その点はちょっと御理解いただきたいと思います。

それと、サポーターさんを図書館委員への枠にどうかという提案につきましては、これは委員選考の全体的なルール、図書館協議会規則等ございますので、その辺含めてちょっと提案として参考にさせていただきます。

○池田委員　確かに前回、浦上教育長のほうからそういった御答弁いただいたんですけども、実質使う子どもたちが使えない状況にあるっていうのはやっぱり御検討いただく余地があるのかなっていう気はします。ぜひとも学校、教育のほうともちょっと連携していただいたりして、お願いしたいと思います。

○松井会長　済みません、今の中学生の利用に関してなんですけれども、利用時間が短いっていうのももちろんあるんですが、基本的に八尾の図書館の中学生、あるいは高校生も対象にした資料をですね、正直言って余りその辺の資料はお持ちじゃないのかなというふうに思っています。いわゆるヤングアダルト層を対象にした蔵書というのは非常に手薄なように、私ずっと感じているんですが、それについてはもう少し充実させるような方向性というのはないんでしょうか。

○南八尾図書館長　蔵書構成につきましてですね、御提案いただいているヤングアダルト層の本が少ないのではないかという御意見ですけども、八尾図書館の場合は1階の階段下のコーナー、一角を設けて図書を置いてるわけですけども、この点、蔵書の構成の種類については今後の、今回の協議会の委員さんからの御提案ということで、今後購入においては留意させていただこうと思います。

○松井会長　ありがとうございます、ぜひよろしくお願いします。

他の方はいかがでしょうか。まだ御発言いただいてない委員の方で、何かございましたら。

新居委員、お願いいたします。

○新居委員　済みません、以前にも聞いてると思うんですが、移動図書館っていうのは幾つ箇所あるんでしょうかね。竹淵はね、移動図書館のみなんです。

○西村館長補佐　済みません、現状ですね、21ステーションになります。龍華図書館オープンに伴いまして、23から21になっています。

○新居委員　やっぱり、この移動図書館というのは図書館に出てくるのが不便なところばかりなんじゃないかな。交通の便が悪いとか、そういうところに移動図書館行ってるんですよ、そうですね。

○西村館長補佐　圏域としまして、今既存にある八尾図書館、龍華図書館、山本、志紀、各図書館から一定距離の離れているところをカバーするという意味合いで走らせてますので、そういう考え方かと思います。

○新居委員　今度、この28年度に入ったら竹淵のほうがコミセンの建て替えありますよね。その場合は、もう予定は決まってるんですかね、どういうふうにするのか、コミセンの建て替えで場所が使えないんじゃないかなと思うんですが、それは予定はしていただいているんですか。

○南八尾図書館長　移動図書館の、今現在竹淵へ一カ所行かせていただいております、工事の件についても、担当課のほうともスケジュールはおおむね確認させてもらっており

ます。実際に工事の担当する部署、また公共建築課のほうとも、どのへんの敷地の中でスペースがとれるのかどうか、その辺含めても担当レベルではいろいろな課題事項として整理をさせていただいておりますが、具体的にいつからどこの場所に具体的に置くかという最初の詰めについては、4月早々に詰めていく段取りになっております。

○新居委員　　そうですか。まだ決まってないみたいに、この間ちょっと聞いたら言うてはりましたんでね、できるだけ早いことどこの場所で、多分中に入られへんの違うかないう話が出てますのでね。

それと、充実していただけるということなので、竹湊の場合は本当に龍華まで行けない人が大勢いてますので、できるだけみんなが見やすいような、そして日にちを増やしてもらおうということではできないんでしょうね。水曜日、今、月2回ですか。

○南八尾図書館長　　月2回です。

○新居委員　　2回ですよ。それをもう1回ぐらい増やして、場所がないから今どうしようか言うておっしゃってました。とにかくここの西門は閉めてしまうから、それも入れへんし、献血の車すら、健康診断の車すら、全部入れないということなのでね、またできるだけ早いこと、済みませんが決まりましたら教えていただきたいと思います。

○松井会長　　ありがとうございました。

他の方は、もうよろしいでしょうか。さまざまな意見、御提案いただきましてありがとうございます。

それでは、次の議題のほうに移りたいと思います。議題の(2)ですが、平成28年度八尾市立図書館予算について、こちらのほう、では説明をお願いいたします。

○西村館長補佐　　それでは、続きまして平成28年度予算及び館別資料費の内訳について説明をさせていただきたいと思います。

お手元の資料2のほうをご覧くださいと思います。まず、平成28年度におけます主な増減でございますが、龍華複合施設整備事業費は整備終了に伴いまして皆減となっております。図書館サービス充実経費につきましては141万円の減、この主な理由といたしましては、新聞データベースの見直しによりまして減額になっているものでございます。また、八尾図書館管理運営経費では1,176万9,000円の減、この主な理由といたしまして、資料費の減及びIT関係備品、駐輪場整理委託経費の減などでございます。また、山本・志紀図書館管理運営経費につきましては、山本図書館で682万9,000円の減、志紀図書館で607万3,000円の減で、主な理由は資料費の減でございます。今東光資料館管理運営経費では72万2,000円の減で、この主な減の理由といたしまして、他市等から借り受けた運搬費の減でございます。また、館別の資料費、資料2の2でございますけれども、市全体の財政状況の悪化を受けまして大幅な減額となっております。4館全体で、前年度と比較いたしますと3,850万7,000円の減額でございます。

以上、大変雑駁な説明でございますが、よろしく御協議のほどお願いいたします。

○松井会長　　ありがとうございました。

ではただいまの説明に対して、何か御質問、御意見ございませんでしょうか。いかがでしょうか。

池田委員、お願いします。

○池田委員　　済みません、館別資料費の内訳についてのほうで、素人目に見ても3,8

50万の減額っていうのはすごい金額だなと思ったんですけども、八尾図書館のリニューアルオープンとか龍華図書館のオープンというのがやっぱりあったので、減額っていうのはしょうがないのかなと思うんですが、主な要因として、その他に挙げられるものを教えていただけたらと思います。

○西村館長補佐 資料費の減の主な要因ということでしょうか。まず、この資料費のほうの減額の度合いから言いますと、前年度に比べますとかなりの額にはなってます。今、池田委員おっしゃいましたように、これまで館を建て直しであるとか、龍華の新館オープンに伴いまして、資料費のほう、かなりつけていただいていたという部分も確かにございます。それとの比較という部分もありますので、確かにこの前年度比較で見るとすごい大きく感じるんですけども、ここ何年か前の部分のベースから考えましたら、そのベースに、開館バブル前のベースに戻ってきたのかなという認識ではおりますが、確かに今までこの資料費で運営した分からこの額に減らされるっていう部分については、館のほうとしまして選別、選定であるとか購入に関しましても、かなり配慮しながら予算管理をしていかないといけないということで、担当者のほうには話はしております。

○松井会長 お願いします、北田委員。

○北田委員 済みません、これを見ますと、4館全部マイナスになってるわけですね、予算がね。何か意図があるんでしょうか。

○西村館長補佐 資料費のほうですね、一律どの館もマイナスだということだと思いません。その部分ですね、当然図書館全体の資料費の中で、それぞれにやはりマイナス部分を分け合うと言ったらおかしいですけども、それぞれ均等ではないですけど、それぞれ必要な部分を削っていった結果、こういう形になったということで御認識いただければと思います。

○松井会長 ほかはよろしいでしょうか。

済みません、ちなみに今回のこの予算でいきますと、教育、市全体のその教育関係予算がございませぬ。その中での位置づけというか、割合というか、大体何%ぐらいになるんでしょうか。

○南八尾図書館長 平成28年度の教育費、教育委員会の、教育費のところの予算全体でいきますと、78億4,283万2,000円、となっております。この中での図書館費の総額が4億8,383万8,000円、となっております。計算しますと。

○松井会長 急な質問で申し訳ないです。

○南八尾図書館長 大体6.16%となっております。

○松井会長 ありがとうございます。

○南八尾図書館長 ちなみに前年比との比較でいきますと、前年比の教育費というのは180億円ほどありました。図書館費については若干の変動ありますけど、全体的に教育費が半分以下になっておりますが、これは大規模な学校の耐震化工事であったりとか、施設整備とか、そういったハードものの予算がございましたので、前年度の数字は180億円となっておりますが、今年度は一定そういう大規模な工事関係は終了しておりますので、来年度は78億4,000万円に落ちついているという状況です。

○松井会長 この、今おっしゃった図書館費の水準というのが龍華、あるいは八尾図書館ができる前の水準と同等というふうな数字ということで、理解してよろしいですか。はい、ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。特にならなければ、次の議題に移りたいと思いますが、よろしいですか。

では、議題の（３）です。龍華図書館の運営についてということで、これは資料がたくさんございますが、じゃあ説明をお願いできますでしょうか。

○西村館長補佐　それでは、龍華図書館の運営についてということで、資料３に基づきまして御説明をさせていただきます。

龍華図書館の管理運営状況の点検についての１枚ものの資料、資料３ですね、この件で本日委員の皆様へ御意見を頂戴いたしたいものの諸点でございます。これまでからも協議会におきまして、委員の皆様からさまざまな御意見を頂戴してきたわけでございますが、指定管理者制度の導入に当たって期待される利点及び課題事項につきまして、このペーパーのほうに列挙をさせていただいておりますので、委員の皆様には、当初想定していた利点が生じると感じておられるのか、また、課題事項が発生して利用者の視点から不便を感じるような事象が起こっているのか、現状の龍華図書館を昨年の協議会の開催時を含めて幾度か見ていただいた中で、御感想を頂戴いたしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

それですね、資料の３－１から３－３でございますが、まず資料３－１ですけれども、これは平成２５年１２月第１８期第６回の協議会の資料であります。これは指定管理者導入に当たりまして、導入に対する期待事項、課題事項について御協議をいただいた際の資料でございます。御参考にしていただければと思います。資料３－２ですが、龍華図書館の８月の開館からこの２月までの統計でございます。曜日別の統計でありますとか、時間別の統計、開催いたしましたイベントの行事の一覧でございますので御確認ください。次に資料３－３でございますが、市内４館の年齢別の貸出状況統計でございます。各館の館別になってございますので、これも比較対象に見ていただければと思います。

以上の資料を御参照の上、皆様の御意見を頂戴いたしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○松井会長　ただいまの説明いただきましたけれども、資料もたくさんございますし、それから資料３－１などは特に今期の図書館協議会ではなく、前期、２年前、２年少し前ですね、の協議会の資料ということで、また委員でない方もここにおられるかと思っております。私も当時はまだ協議会の会長ではなくて、一委員として参加させていただいていた時期なんですけど、こういうふうな２年少し前の資料等も踏まえまして、龍華図書館の運営について皆様からの御意見でも結構ですし、御感想でも結構です。何か今後のことを踏まえまして、御意見を頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。率直な感想等でも結構です。資料でなくても、何か実際に利用されて気がついた点とかがございましたら、そういうことでも全然構いません。

それでは池田委員、お願いします。

○池田委員　私も龍華地域に住んでますので、一番よく使わせていただけてます。利用者としては、特に不満もないです。図書館が主催されるイベントなどにも、ちょっとなかなか参加できずにはいるんですけども、とてもニーズに合ったものをされているなとは思ってます。ただ、指定管理者だからできるっていうものではちょっと違うのかなっていう気もします。直営でもできるのかなという思いはあります。

この資料３のほうの、期待される利点のほうから、②の民間事業者ノウハウを生かした

新たな図書館サービスの提供というところで、すぐれた専門知識を有する社員等を生かした高度なレファレンス事業実施ということであるんですけども、私自身がそんな高度なレファレンスが必要なことをお尋ねする機会はなかなかないので、もし今までの、8月から今までの中でこういったレファレンスが何かあれば、事例を一つ挙げていただきたいと思えますし、もしなければTRCさん、全国展開されてますので、どういうレファレンスがあったのかっていうのをちょっと教えていただけたらと思えます。

○松井会長　よろしいでしょうか。お願いします。

○住本龍華図書館長　高度なレファレンスということなんですが、実際それほど高度なものはないんです。一番時間がかかったようなものは、ちょっとレファレンスというものではないかもしれないんですが、ルーマニア語が母国語の方が子どもさんといらっしやいまして、その方が読めるような児童書はないかというお問い合わせがありまして、八尾市内にはないと。府立にもないと。国際児童文学館などでは5冊ほどはヒットする、けれども貸出は行っていただかないと見れない、相互貸借はできないというようなことで、多くの外国の本を持ってらっしゃる機関を御紹介させていただいたりはしました。これが大体、そこまで調べるのに1週間ほどはかかっております。あとは幾つか記録をとっているんですが、それほど高度なレファレンスというものは特にありません。すぐれた専門知識を有する社員などを生かしているということなんですけれども、私たちの答えられる範囲以上のものが来た場合は、大阪府立さんとか、もっとたくさんの資料を持っていらっしやる場所にレファレンスをするっていう予定なんですけど、うちの本社のほうになるんですけども、レファレンスを専門にやってる技術顧問がおりまして、そこに教えてもらうっていうこともありますが、まだそこまでの事例は発生してないような状況です。

○松井会長　ありがとうございました。よろしいですか。

○池田委員　ありがとうございました。

○松井会長　北田委員、お願いします。

○北田委員　済みません、利用者アンケートによりますと、ものすごく高い評価を受けているというふうに私は思うんです。スタッフについてとかですね、図書館内についてとついてね、間がなかったですね、できてまだ1年たってませんから、このまま続けていただきたいと思えます。どんどん悪くなったら困るし、こんだけ高い評価を受けて、本当に今で言うとかよかったかなという感じがします。その点、これからどないなるんでしょうかね。質が悪くなるとか、例えばね、雇った人が悪くなるとか、初めは確かにどこでもいいスタッフ持ってくるんですよ、どこでもね。その点ちょっとお聞きしたいと思えます。

○松井会長　お願いします。

○西村館長補佐　なかなか答えにくいところがあるんですけども、当然導入に当たりまして、委員の皆様にも御協議いただいた中でも、また仕様書等も見させていただきまして、いろいろ確認もいただいたところがございますけれども、司書資格保有者の比率であるとか、経験者の比率っていうものについては、当然その範囲の中できっちりやっていただくというのが前提になります。図書館のレベルですね、サービスレベルは低下させないというところの部分、当然基本協定の中にも謳い込んでございまして、その部分につきましては、今のところこのアンケートを見る限り、しっかりやっていただいているのかなという、こちら判断はしておりますが、当然それが維持できるような形で人員のほうを組んでいただくということは、私のほうからも要望させていただいている形になったと思

います。

○松井会長 よろしいですか。

今の件で、私もちょっと聞きたいなと思っていたのは、実際にこれまでで龍華の職員の方でお辞めになった方とかはもう既におられるのでしょうか。

○住本龍華図書館長 1名ですね、旦那さんの転勤で退職された方がいらっしゃいます。あと、この3月で1名が、シェアスタッフなんですけれども、週3日のスタッフが退職予定になってます。あともう1人が、同じTRCの他の館に異動になる予定でございます。

○松井会長 そういう方々の補充については、スムーズになさっていただいたのでしょうか。

○住本龍華図書館長 もう既に1名補充しております。4月からまた2名ほどの採用を予定しております。

○松井会長 ありがとうございます。

他に何か御意見なり、ございませんでしょうか。

アンケート、龍華図書館の利用者アンケートもございますけれども、これはこの議題の資料として提出されてはおりませんが、ここの中にも非常にいろいろな意見があるかと思えますので、もしこの中でも気になる点があれば今御質問いただきたいかと思えます。

池田委員、どうぞ。

○池田委員 済みません、質問というよりも感想なんですけれども、この龍華図書館利用者アンケートのほうで、棒グラフなので長いと結構いい評価なんだなと思ってしまいうんですけれども、例えば12ページの児童書の種類か一般書の種類と比べていうのは、40%までの軸で36%で、やっぱり高いと言えないと思うんですよね。現にまだ開館1年もたっていないので、特に児童書なんか、もともと子ども向けの児童書のニーズが高い地域なので、やっぱり本棚ががらがらというか、やっぱり少ないんですよね。今回、この予算の減額されてるので、ううんと思ってるんですけども。

済みません、ちょっと話が、済みません。この表も、ですので一瞬満足の方が多いように見えますけども、やっぱり周りの方に聞いても、ちょっとやっぱり少ないっていう印象があります。

○松井会長 お願いします。

○南八尾図書館長 確かに龍華図書館の本の数については、八尾、山本、志紀と比べるとはるかに少ないのが現状ではございますが、やはり八尾図書館並みの20万点、山本図書館等の15、6万点の本をそろえようと思いますと、この3年間、数億円のお金をかけて本の購入を行ってきたわけですけども、これが現状です。それと、単純に考えていただきたいのは、山本・八尾図書館並みの本を揃えようと思いますと、これまでのお金のかなりの予算を充当してこなければならぬという制約もございます。そもそも、山本・八尾図書館におきまして、今の蔵書規模になるには10年ぐらいを要して今の蔵書規模になってきてます。最初から必要な本をたくさんそろえるのではなくて、地域の方々がこんな本を買って欲しい、こういう本をそろえて欲しいという、そういった要望をいただきながら、本というのは構成していくほうが、地域に根差した図書館になるのかなとは考えております。なので、今の蔵書の数の本だけを見るのではなくて、今後10年のスパンの中で地域の方々からもリクエストいただきながら蔵書構成をして、地域の方々のニーズに即した図書館に成長していく必要があるのかなと思っておりますので、その点今の図書館のあ

る本の数だけを見てということではなくて、もう少し長いスパンで見ていただけたらなと思います。

○松井会長　　いかがですか、よろしいですか。

○池田委員　　済みません、ありがとうございます。

○松井会長　　松下委員、指名で恐縮ですが、何か今の児童書のことについて、何かアドバースなりありましたら。

○松下委員　　そうですね、やっぱりなかなか蔵書構成をきれいにと言ったらおかしいですけれども、適切なところに持っていくのってやっぱり時間がかかるんです。利用者層を見ながらとかっていうこともありますし、選書のところは本の選書委員会か何かがおありだとは思いますが、でも現実のところ、今は指定管理で当たっていらっしゃる方々の御意見も聞きながら、ちょっと時間をかけながら資料費が削られないように頑張っていたきながら、やっていくしかないのかなというふうに思っています。

○松井会長　　ありがとうございました。

ちなみに、次年度の資料費、今年度でも結構なんですけど、大体一般書と児童書の購入の比率みたいなものは、おおよそのところはあるんでしょうか。お願いします。

○佐古田係長　　今年度、年度途中でございますので、平成26年度の購入の実績からお答えをさせていただきます。実際に図書館へ入れる本ですね、購入したものの他にも、寄贈でいただいたものであったり、行政資料等で市から移管されたものであったり、そういったものが入っておりますけれども、26年度の比率で言いますと、ごめんなさい、少し計算する時間をください。

○松井会長　　済みません、急な質問で。

○佐古田係長　　大体、購入した本が3万点程度、概算ですけれどもございます。そのうち、1万6,000点ほどが一般書で、1万点少し超えるぐらいのものが概算で児童書になっております。

○松井会長　　ありがとうございました。

龍華はこの地域性としては、児童の利用が活発な地域のようにお見受けしますので、その辺もう少し児童書の比率を多少なりとも高めるなどの措置は可能なのかなと思いますが、

それと、児童書についてはこういうものを購入して欲しいというふうなリクエストとか、そういったものの要望というのは結構あるんでしょうか。

○住本龍華図書館長　　龍華図書館で受けるリクエストの数というのは、まだ他の3館に比べては大分少ないんですが、その中でもまだ児童書はやっぱり少ないです。たくさん巻が出てくるものについて最新号を入れてくださいというリクエストなどは多い、それなりにあるんですが、新しく、全く新しくというのは少ないほうではあると思うんですが、まだまだリクエスト自体が少ないとは感じております。

○松井会長　　例えば学校図書館とかでも、生徒からのリクエストを受け付ける学校図書館ってたくさんあるんですけれども、龍華でももう少しその辺リクエストを積極的に出していただけるような方法を考えていただいて、その棚にあるだけが資料の全てではないというふうなことをもう少し市民にPRしていただくのも一つの方法かなと思うんですが、いかがでしょう。

○住本龍華図書館長　　もちろん、今後積極的にPRしていきたいと思っております。

○松井会長　　どうぞよろしくをお願いします。

○佐古田係長 済みません、少し補足を、よろしいですか。先ほどのですね、26年度の予算で購入させていただいた一般書と児童書の大体の比率なんですけれども、先ほどの点数の中には龍華図書館の開館のために大量に購入して準備しておいたものというのが、含まれておりませんで、先ほどお答えさせていただいた分は購入の中身、細かく今持っている資料の中に出せる八尾図書館、山本図書館、志紀図書館、移動図書館の資料数を合わせた数でお答えさせていただいたことを補足させていただきます。

○松井会長 わかりました。

他にまだ御意見等ございませんでしょうか。資料構成だけが今済みません、問題になってますので、運営全般についてももう少し幅広い御意見を頂戴したいと思いますが。例えば資料3ですね、表面のほうでは利点、それから裏面のほうでは課題ということで、幾つか項目が並んでおりますので、こういうところを委員の皆さん自身が見ていただいたときに、課題については確かにこういうふうな課題がまだあるんじゃないかとか、あるいは利点はここに上がってないけれどもこういう利点があったんじゃないかとかというふうな、そういうところを補っていただくのも一つの方法かと思えます。

皆様にちょっと資料3の表裏を見ながら考えていただくお時間を頂戴いたしまして、その間にちょっと私、もう少しお伺いしたいことがあるのですが、これは龍華の館長さんにお伺いするほうがいいのか、それとも他の既存の館の館長さんにお伺いするほうがいいのか、ちょっと迷っているんですが、実際に龍華と既存の3館との協力、あるいは連携について、何か実際にこれまでの運営の中で、例えばこういうふうなところがやりにくかったとか、こういうふうなところがよかったとかっていうふうなことがあれば、教えていただきたいと思うんですが、それはいかがでしょう。龍華の館長さんからちょっと言いづらいかもしれませんが。既存の3館の館長さんから、まず御意見いただくというのもありかなと思えます。

○南八尾図書館長 じゃあ、八尾図書館から。やりにくかったことってというのは特に、図書館通常の運営の中では、感じたことは正直ございません。ただ、常に図書館で新しいことをするとか、一つの課題が図書館で起こった、カウンターの窓口でこういう今の制度の中での課題が起こったといったことについては、定期的に毎月やっています館長会議であったりとか、事務担レベルが集まった実務担当者会議、それと他の選書におきます4館の代表が集まってきた選書会議とか、そういった常に直営と指定管理者を分けた会議とか、そういう組織体制になっておりませんで、その上においては常に4館の何らかの職員が集まって共通意識の中で課題整理をして、新たな取り組みにつきましてもやっていくということは、常に図っておりますので、特に指定管理者制度が導入されることによって意思の疎通の中での問題があるということは感じてはおりません。

また、逆に龍華図書館のほうから、先ほど住本館長の答弁ありましたように、やはり龍華図書館で働いている職員さんだけではなくて、龍華図書館を運営している会社全体的なノウハウ、北海道から沖縄まで、さまざまところで行われているいろんなサービスの中で、利用者からよかったものとか、また新たにこういう取り組みであったりとか、民間企業の中でサービスが提供が始まっているといった情報、ノウハウというものが常に敏感に察知されておられますので、そういったものを会議の中で提案してもらうことで、直営のほうでもこういうことをやっていきたい、やっていく検討をしていこうというようなこともありましたので、恐らく市の直営の3館だけでは発見しにくかったようないろんな取り

組みについても教えていただいているようなところもございますので、一定指定管理者制度入れたことは効果の一つの点を果たせているものというふうには感じております。

○松井会長　引き続き、お願いします。

○永田山本図書館長　山本図書館なんですけれども、当館としても今、八尾の図書館長がお答えしたとおり同様なんですけれども、特に指定管理者と直営の違いというのは、当然これはございます。その中でも、先ほど八尾の館長が申しあげましたように、館長会議等で忌憚のない意見を出し合って、図書館サービスの拡大に向けてのいろんな課題を詰めていくってということで、むしろメリットのほうが、これまであるのかなというふうには私自身捉えています。例えば利用者からの、これまで意見箱ということで山本図書館内に置いておりました。でもほとんど意見箱に入れるという機会がなかったんですけども、今回どんどんいろんな利用者の方に図書館のサービス拡充に向けての御提案なり、意見をいただくということ、かなり目につくところに提案箱を設置しております。これまでいろんな提案がありまして、これまではそういう回答を掲示はしておらなかったんですけども、龍華図書館のほうでは積極的に回答も示していくってということで、それに倣って直営の図書館でもそういった回答を示すようになりましたし、そういうことからしますと、利用者のほうから積極的な提案をいただいているってというような、そういった、一部分を紹介しましたけれども、そういう効果があるのかなというふうには捉えております。

○松井会長　ありがとうございます。引き続き、お願いします。

○柿本志紀図書館長　どうも、志紀図書館の柿本です。よろしく申し上げます。

2館で、ほとんどのことをお答えいただきましたので、私は観点を交えて、火曜日開館をしてくれてます、龍華図書館。うちは3館とも月曜日休みなんですけど、どこか開いてるところないかって聞かれたときに、龍華へ行ってくださいと言えようになりました。朝早いところはないかと言われたら、9時から開けてくれてますので。日曜日、火曜日は5時までの開館なんですけど、遅くまでと言えれば7時まで龍華さんが開けてくれておりますので、うちのほうからの言うことができるようになりました。

逆に、志紀からは龍華さん、非常に近くて、龍華さんができるとうち半分ぐらいになるん違うかと言われてた館なんですけど、何とか持ち堪えてまして、昨年度26年度、月平均大体4万1,000件の貸出をしておったんですけど、27年度は3万8,000件、約月3,000件の減で今来ております。職員頑張ってくれているなというふうには思っているんですけど、あと、龍華さんのほうは約4万2,000件ぐらいの貸出を昨年1年間、これも今年1年間出してこられました。うちは3,000減って、移動図書館が大体1,000ちょっとの減だと思います。残された3万8,000人はどこにいたはったんかなと、人で延べで3万8,000件の貸出点数っていうのはどこから浮上してきたのかなというふうには、こないだちょっと議論をして、館内で議論をしたんですけども、やはり新しいところができるって新しい需要が開拓できる、非常に素晴らしいことだなと。できるだけ、八尾館長も申しあげてましたが、近隣の小学校、中学校と連携して、貸出点数、もしくは私ども地域の町会さんをお願いをしまして、回覧で「そうだ、図書館へ行こう」ということで、図書館の利点というのを並べて回覧してもらったんですけど、そういうふうには積極的に地域へも打ち出してはいるんですけど、なかなか新しい顧客、新しい利用者というのができてなくて、そういう意味では龍華さん、非常に新しい利用者を捻出してはったなというふうには感謝をしております。

以上です。

○松井会長　　ありがとうございます。

龍華の館長も、またよろしいでしょうか。

○住本龍華図書館長　　開館前から、開館してからもずっと私たちは八尾のやり方を全くわからないで運営を開始しましたので、本当に手とり足とり、隅々まで教えていただいて、事前研修もしていただいて、開館してからもいろんなイレギュラーなことでお問い合わせすることが多々あるんですけれども、一つ一つ丁寧に教えていただいておりますので、今まで私たちもここまで運営できたと思っております。

以上です。

○松井会長　　何か困ったことはなかったですか。

○住本龍華図書館長　　特にありません。

○松井会長　　ありがとうございます。いろいろなお話が聞けて、大変参考になりました。

ではどうでしょう、他の委員の方でお気づきの点ございましたら、ぜひぜひお願いしたいのですが。

○村瀬副会長　　では、今会長のおっしゃるのは、利点と課題についてどう思うかというお問い合わせなんですけど、その前にそれを考えるときに、とりわけ私は遠隔地におりますので、できないのですが、その参考にアンケート調査を今前日から見ているのですが、このアンケート調査は龍華と八尾の3館と一緒にすることはできませんか。つまり、同じような項目ですので、そうしていただくと龍華の特色というものがよくわかるように思うのですが。いかがでしょうかね、その上で龍華図書館はこういった図書館ということで、特色を出すという意味でそのアンケートを追加していただくことも可能かと思いますが。こう全くばらばらにしないほうが、私どもとしては見やすくなるんですが、いかがなものでしょうかね。

それは前置きですが、ここの利点の中で、資料3の龍華図書館の点検の中で、利点のところ、④に市民要求への迅速な対応ということがございます。これは柔軟性があるという利点を生かすということだと思いますが、ちょっとそれるかもしれないんですが、大きな意味で市民要求なのだと思いますが、滞在時間ですね、図書館への滞在時間、これが必ずしも八尾市全体が延びていないと。要するに、本を借りにきて帰ってしまうという、そういうのでなくて、滞在して図書を利用しながらいくということが、この課題、最初の議題にありました事業計画の中で、2の市民生活を豊かにする図書館という、このコミュニティと、コミュニケーションを図り、していくという、そういう活動、図書館が本を借り、返すというだけの機能でなくて、市民のコミュニティとして広がっていくためには、今後非常に大事な要素だと思うんです。そのためには、図書館に滞在する期間が長いほうが、別の意味で余り長いと困る場合もほのかには聞いておりますが、それはそれとしまして、滞在する期間が長いほうが市民に開かれた図書館として発展していく指標になるかと思うんです。そういうことを考えながら滞在時間というものを3館と龍華と拝見していますと、龍華が必ずしも滞在時間が長くないという感想を持ちました。龍華図書館が開館の少し前に、私ども見させていただきましたが、そのとき、これは広いスペースがあっていいなと思っていたんですが、その割には滞在時間が延びてないような気がするんですが、これはいかがでしょうか。

○松井会長　　どうでしょう、いろいろな回答が必要ですが。

では館長、お願いします。

○南八尾図書館長　　図書館のアンケート調査におきましては、これも検討の課題かと感じております。一本化できないのかということだと思います。これはそもそも龍華図書館さんのアンケートについては、利用者の動向把握っていうことの点と、もう一点は、市の指定管理者制度に基づく必須、確認すべきことということでの利用、指定管理者制度に基づくアンケート調査という趣旨もかぶさっておりますので、そのあたり一本化することについては、質問の仕方とか聞く内容を精査とか、その辺の整理を図っていく必要があると考えております。ただ、利用者、こういうふうなまとめ方をするにおいては、やはり見やすいような観点での整理も必要かという課題は認識させていただいてはおります。来年度、引き続き経年的にこのアンケート調査を行って、推移を見てきましたので、来年実施するにおきましてはそのあたり、検討で整理をさせていただきたいと思っております。

また、図書館の滞在時間ですね、龍華図書館におきましてはやはり八尾・山本・志紀とはまた別で、指定管理者制度の独自事業としてカフェのルームを設けるなど、できるだけ滞在時間を設けるための工夫もしていただいております、実際カフェの利用、購入についても1日数百杯ぐらいいは出てるというふうには聞いております。当然それを飲みながら本を読まれている方っていうのも非常に多く、そのスペースで雑誌を読んでいる方、新聞を読んでいる方、たまにはそのカフェを持ちながら宿題をしている方とか、非常に多くの方が滞在しておるんですけども、このあたり龍華図書館においては、30分未満という方が非常に多く、1時間未満という割合が他の図書館と比べると若干逆転しているような状況にもなっておりますが、このあたり実際に二極化されているのかなんかということを感じてはおります。本を借りて返していく、借りて返すという、図書館で本だけを引き取りにきてる方と、それとまた滞在してゆっくり本を読む方、当然滞在される方というのは長時間おられまして、そうすると机のそもそもの座席数にも限りがございますので、1日千数百人が図書館にいられて、座席数にも限りがある中で長時間座られますと、どうしても実際に長時間滞在する方の数というのは減ってしまっているのかなんかと思っております。このあたり、今私はこのもともとの数字の違いを見たときは感じたところなんですけども、もう少し龍華図書館の方等も含めまして、こういった八尾と山本・志紀と龍華図書館の滞在時間の違いについては、もう少し利用者動向を確認していく必要があるかと考えておりますので、そのあたりちょっとまた宿題として預らせていただきたいと思います。

○村瀬副会長　　済みません、グループ活動なんかはこの滞在時間に含まれていないんですか。例えばお話し会とか、そういう会で使われる、あれは別なんですかね、龍華図書館の。何かざっと拝見しただけなんですけど、非常に広いスペースがあって、これいろんなグループで活動できるなど、感想を持ったんですが、そういう市民のコミュニケーションの広がり場というんですかね、それも図書館の果たしていく役割ではないかなんかと思うんですが。あの龍華図書館はそういうスペース、多かっように思いますが、どうなんですかね。何か、機能が幾つかあって、それが図書館機能ではないのかな。大ざっぱなことしか見てないんで、ごめんなさい、誤解してる可能性があるんですけど。

○南八尾図書館長　　実際に図書館でお話、龍華図書館の2階部分に広い、ちょっと飛び出た形のお話し室が設けておまして、そこでのお話し会の開催については、資料3のところ催し物、幾つかさせてもらっておりますし、そこで小さい子どもさんとお母さんが

来て本を読んでも風景というのは当然ございます。ここでのアンケートですね、とり方の手法にもよったのかなと思ってます。というのは、このアンケートの配布の仕方が、カウンターで本をとり、借りに、返却しにこられた方を中心にお渡しさせていただいてるので、その方々の中でお話し室へ行かれた方も当然おられると思いますが、利用者が大体、1日千数百人が入っておると言いましたけども、全員に対してアンケートをとるというのはやっぱり集約作業を手作業でやっておったもので、かなりのサンプル調査的にやらせてもらっております。ですので、サンプル調査で抽出した方々の中でお話し室へ行かれなかった方もおられたかなと思いますので、このあたり、サンプルのとり方についても一つは課題かなと思ってます。当然、お話し室へ行かれてた方にも配ったりとか、そういったことでの回答かとなってくるとは思われるんですけども、そうなるとお話し室に行ってる方に何ぼ配るんかと。アンケート用紙の配り方がまた精緻なことに、議論になってしまいますので、配り方によっても答えが変わってしまうという懸念もございます。我々のしたサンプル調査、一律的にはもうカウンターで来られた方に応じてお渡しさせてもらったんで、こういう結果になったという状況です。

○村瀬副会長　ありがとうございます。

○松井会長　ありがとうございます。

他の方はいかがでしょうか。

松井委員、お願いします。

○松井祥一委員　今、村瀬副会長が滞在時間のこともおっしゃったと思うんですけども、やっぱり図書館の意義っていうのは、市民の読みたい本の貸出っていうのももちろんなんですけれども、これからは市民が本を読みたいというのを充実させていく必要があるのかなと思っております。例えば、いろんな図書館で最近取り組まれているのは、知的書評合戦、いわゆるビブリオバトルっていうんですか、そういうのを図書館が主催されて、今まで知らなかった本がこんな魅力があるんだから、一度借りてみようかとか、一度ゆっくり1日かけて図書館で読んでみようかっていうような気持ちにさせるような取り組みを、これからそういうふうにも充実させていく必要があるのかなと思います。

○松井会長　どうでしょう、今のことについては。

○西村館長補佐　お答えします。今、松井委員のほうからビブリオバトルの件でちょっとお話のほうをいただきました。実は八尾図書館のオープンの際に一度、ボランティア団体さんが主催でさせていただいたような形もさせてもらったところもございます。今後どういう形でどの館でどうしていくかっていう部分については、当然また企画検討していく必要があるかとは思いますが、そういうことも実際八尾図書館では一度させていただいたような形もございますので、今後またよろしく願いいたします。

○松井祥一委員　今、八尾図書館開館時にボランティア団体によるビブリオバトルっていうことでお話いただきましたけれども、例えばこれこそ学校教育との連携ということで、学校と連携をしながら一緒にビブリオバトルを催して行って、子どもたちの読書意欲っていうのを高めていくっていうことであれば、図書館のニーズも高まっていくでしょうし、また学校の子どもの読書意欲っていうことも高まっていくと思われまので、また今今後そういったところでの新しい学校と図書館の連携っていうのも模索していただけたらなと思いました。

○南八尾図書館長　ちょっと補足になりますけども、ビブリオバトルだけではなくて、

学校との連携であれば調べもの学習で図書館を使ってもらうためのコンクールとか、そういったさまざまな催し物、学校の生徒、児童、生徒が図書館に来て何かを調べるという過程も与えて、それを発表してもらおうというような取り組みもございますので、他市でやられている取り組みを参考に、これからできるところから小さくやっていきたいと思っています。

○松井会長　よろしいでしょうか。

ちなみに、大阪市さんはビブリオバトルとは称してなくて、書評漫才とおっしゃっているんですね。それについては、例えば参加されてる方というのはやっぱり高校生の方、大学生とか、そういう若い方が中心なんですか。

○松下委員　書評漫才やってるんですけども、いろんなところから注目を浴びて、メディアからも取材が来たりとかしてるんですけども、こちらとしては本をテーマに、それを漫才に結びつけて、大阪独特にっていうことだったんですけども、ちょっと漫才のほうに重さが置かれるようになってきて、ちょっとそれも低年齢化してきてまして、本当はもともとはティーンズに、やっぱりどこも同じなんですけれども、中学校、高校生ぐらいの子たちがなかなか図書館に、部活動であったりとかで、足を運んでくれない。何とかティーンズを呼び込みたいっていうことで、初めて企画だったんですけども、ことしで4回目を迎えたんですけどか、なんですけども、どんどん低年齢化してきて、しかも小学生の半セミプロっぽい感じの、コンクール荒らしのような子たちまでが現れてくるという状況なんで、ちょっとやり方については検討課題だになっていうふうに、ただ、小学校のほうでもこういう書評漫才っていうことで話をしてくれていうことで、積極的に学校の閉じられた社会の中でこういった取り組みを実際にやってくださってるところでは、逆に子どもたちがみんなに自分が読んだ本を紹介することになったので、そういったところでやっていただく方面に広がっていければなっていうふうにちょっと思っています。

それから、今いろんな形で読書に親しんでいただけるようにということで、昔だったら読書会っていうことで、1冊の本を読んでっていうことだったのと、あとビブリオバトル、本を紹介して、読んだ、どれを読みたくなかったか、読みたくさせるかっていうことでちょっと競うみたいなどころがあるんですけども、私は余り競うの好きじゃなくて、どちらかという、今ちょっと読書交流会っていうことで、それぞれが自分のお勧めの本を持ってきて、何人かの間でこんなものがあるよみたいな、そういうちょっと読書会とも違う、ビブリオバトルとも違うっていう、そういったやり方もあるので、合った方法で利用者の方を巻き込んでいけたらいいんじゃないかなっていうふうに思います。

○松井会長　ありがとうございました。

そうですね、やっぱり低年齢化していくんですね。大学図書館でもビブリオバトルなどは非常にいろいろな大学で実施されるようになってきたんですけども、残念ながら私の本校ではまだ余りやってなかったかなと思いますが、大学によっては非常に盛んですね。

済みません、話がちょっと横道にそれているようなところもありますが、本題に戻していきまして、龍華図書館の運営状況について、他には何か御意見なり御感想なり、ございませんでしょうか。

この委員さんの中では、実際にボランティア活動で龍華にかかわっておられるのはやっぱり池田委員だけですかね。

○池田委員　そうですね。

○松井会長　具体的には、ボランティア活動を実施する上での何かやりにくさとか、あるいはこういうふうな、ボランティア活動やってよかったとかいうところはないでしょうか。

○池田委員　実は、この1月からもともとどの館でもお話し会というのはあるんですけども、ボランティアさん、そして図書館の司書さんによるということで分けられてたものを、この1月から一緒にさせていただくことになりまして、今3回目をしました。場所も、図書館のほうでされる場合はお話し室のほうでされるんですけども、私たちはコミセンのほうでしたんですね。それを入れて明るい、エントランスのところでお話し会をさせてもらってます。効果としては、わざわざそのお話し室に行かなくても、そこに利用する方が何してるのかなって見てもらったりとか、ということで割と毎回たくさん子どもさんや親御さんに足をとめて見ていただいています。やっぱり、図書館の司書さんが選ぶ本とかも私たち勉強になりますし、そういうところで話す機会もたくさん増えてきて、すごくいい関係が築けてきてるのかなと思ってます。感謝してます。

ちょっとそれに絡めてなんですけれども、この課題のところで、やっぱり指定期間が3年とか5年っていうのがありますので、せっかくそういうことで情報交換したり、信頼関係が築ける中で、3年後、万が一指定管理が別のところになれば、また一からなんだなと思うと、ちょっとやっぱりそのあたりは危惧してます。

○松井会長　ありがとうございました。

そうですね、指定期間の問題というのは相変わらず残っているのかなと思いますが、それが継続されるかどうかというのはまだわからない、全然わからないことですね。

いかがでしょうか。他にございませんでしょうか。時間がかかり経過しておりますので、特にそれ以上ないようでしたら次の議題に移りますが、よろしいですか。ありがとうございます。今のことについては、ちょっとまとめというところまではなかなか至りませんが、今後また協議会の場を重ねることでもう少し議論を深めていきたいと思います。

では、次の議題ということで、報告のほうになります。報告の(1)図書館利用者アンケートの結果について、こちらについてはもう既に龍華のほうは話に上ってますが、説明をお願いいたします。

○西村館長補佐　そうしましたら、図書館利用者アンケートの結果につきまして、資料に基づき説明のほうをさせていただきます。その前にちょっと委員の皆様にご連絡だけさせていただきます。

3時50分ぐらいになりましたら、教育次長と部長ですね、ちょっと別公務が入りまして中座していただく形になりますので、よろしく願いいたします。

そうしましたら、報告(1)、報告の図書館利用者アンケートの結果につきまして、御説明のほうをさせていただきます。まず資料4-1でございます。八尾・山本・志紀図書館におきまして、平成27年11月1日、日曜日から7日土曜日までの間に、午前10時から12時、午後3時から5時、午後5時から7時に来館されました利用者の方にカウンターで手渡しで用紙を配布し、館内の回収箱において回収をいたしております。3館合計で有効回答が743枚、回答率が77.4%でございます。

項目の中で主な項目から、3ページの図書館の利用頻度では、図書館利用者の88%が月2回以上の図書館利用を行っており、また8ページの自動貸出機の設置においては、各館ともに満足・やや満足を合算しますと約6割から8割の御評価をいただいているという

形になっております。併せて、11ページの職員の言葉遣いにおいては、約7割が満足・やや満足と評価しております。その他、記述の意見といたしましては、AV資料の充実を挙げる方が各館ともに多く、また、施設の設備や駐輪場、駐車場に関する御意見等をいただいております。また他に、スタッフに対する激励や感謝などの御意見もいただいているところでございます。

続きまして、資料4-2といたしまして、先ほどの議題でも上がってございましたけれども、龍華図書館についてのアンケートについて御説明させていただきます。平成27年12月2日水曜日から9日水曜日までの間に、午前9時から11時、午後3時から5時、午後5時から7時に来館された利用者の方にカウンターで手渡しにおいて用紙を配布し、館内の回答箱で回収いたしました。有効回答数が240枚、57.1%の回答率でございます。

アンケートの中身でございますけれども、先ほど説明させていただきました3館分と龍華分、ともに共通の質問と、龍華図書館においてのみお聞きした内容がございます。主なものを御紹介させていただきます。4ページの利用回数では、月2回以上の利用者割合が85%と高く、6ページから7ページにかけてのスタッフに対する問いにおいても、7割から8割の方が満足と評価しています。また、15ページの龍華図書館独自の質問項目である、龍華図書館がオープンしてから生活が変わったか、では、他の図書館を利用していた者が龍華図書館を利用することが増えた、との回答に6割、これまで利用してなかった人が利用するようになったと回答する方が約3割となっています。その他の意見といたしましても、先ほどの3館の図書館と同様に、施設設備面や、また先ほどお話しに上がった蔵書に関する要望、スタッフに対する激励、感謝などもいただいております。このアンケート集計結果につきましては、既に各図書館において配架を行っておりまして、また併せて図書館ホームページにも掲載を行っておりますので、よろしく願いいたします。

以上、大変雑駁な説明でございますが、よろしく願いいたします。

○松井会長　　ありがとうございました。

それでは、このアンケートについての何か御感想なり、あるいは御質問なり、何でも結構ですのでお出しただけければと思いますが、いかがでしょうか。ございませんでしょうか。

○池田委員　　志紀図書館のほうでもお話し会のほうをさせていただいてるんですけども、これはもうボランティアのみんなが言うことなんですけれども、本当に志紀図書館の雰囲気が変わって、とてもいい印象を持てるような児童書のコーナーなんかも配置をされたりとか、ディスプレイとかもとても工夫があっていいなと思っております。ぜひ続けていただきたいと思います。

○松井会長　　志紀図書館のお話が今出たんですけれども、私も実はつい先日、先週でしたかね、ようやく志紀図書館に足を運ぶことができまして、志紀図書館の中を1時間ほどお時間をかけてじっくり見てまいりました。そうですね、以前他の、池田委員さんもそうですが、他の委員さんからもちょっとあの志紀図書館がねというふうなことを耳に挟んだりしてたので、少し危惧はあったんですが、実際に行ってみると非常にいい図書館でした。全体的な雰囲気とか建物が少し、いわゆるよく昔からあるような図書館の雰囲気では確かにあるんですけれども、それでも資料の充実、あるいは利用者との対応とか、あるいは小さい子どもさんがたくさん出入りしてましたけれども、その子どもさんに対する対応とか

も非常に行き届いたものがあつたなというふうに思います。椅子とか、あるいは館内の展示とかですね、その辺もう少し充実できるとは思いますが、去年まで聞いていたお話よりははるかによいイメージ、よい印象の図書館でした。資料が本当に充実していたし、特に児童書のところで、学校図書館にあつてしかるべき資料というのが非常に充実してるんですね。だから、あそこの図書館は調べ学習していただくのに非常にもってこいの図書館だと思うんですが、話を聞いてみるとまたそういうふうな学童の生徒さんの利用が、調べ学習としてはそれほどない、なので、近隣の小学校ともう少し連携を図っていききたいなというふうな話をしていたんですが、なかなかその点が行き届いていないというふうなことをおっしゃってました。その辺をもう少し力を入れていただいたら、あそこの図書館のすばらしさをもっともっと生かせるんじゃないかなという気も、正直思いました。個人的な感想なんですけど、その辺を、学校図書館との連携をもっとぜひ図っていただければというふうに思っております。

済みません、私個人の意見が先に生まれて申し訳ありませんが、どうぞ他の委員さんも、何でも結構ですので、質問なり御意見なりお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。なかなか意見出しづらいでしょうか、それとも。

新居委員、お願いいたします。

○新居委員 意見ではないですけどもね、私も済みません、不勉強なのであちこちの図書館に行かせてもらったことないです。八尾の図書館にはちょっと二、三回行かせてもらったんですが、龍華の図書館、私が永畑地区とか龍華地区の人をたくさん知ってますので、お話を聞いてたら、すごくいいのができてって喜んでおられました。そして、ただこのアンケートの中にね、喫煙をしている人がいたのというのが書いてますけれど、こういうところは全部禁煙にはなっていないんですかね。

○西村館長補佐 龍華図書館、敷地内の部分につきましては、公共施設については全面禁煙になっております。

○新居委員 ああ、そうなんですか。

○西村館長補佐 おたばこを吸われている方は、もう敷地内においては禁煙という形になってございますので、どちらで吸われてたかっていう部分もありますけれども。

○新居委員 ちゃんとここのアンケートにね、日にちまで書いてね、平成27年8月20日木曜日の午後3時ごろって書いてますねんけど。図書のところ喫煙してる人がいたので、喫煙所をつくったらどうですかっていうことを書いてますけど。

○住本龍華図書館長 この日に実際に喫煙されてる人は、直接は見てないんですが、一度8月の、8月中にごみ箱に吸い殻がついていうのは、掃除の方から聞いております。このときかどうかはちょっとわからないんですが、私たちは巡回はしているのですが、その間を縫ってといいますか、そういうのがもしかしたらあつたのかもしれないですね、こう書かれているということは。

○新居委員 中にはそういう人もいてはるかと思いますが、とりあえずきっちりと、ここに時間まで書いてアンケートしてはりますので、きつく皆さんにお伝えしていただけたらいいかなと思います。どっちだつても、みんな龍華の図書館はいいというような、全ての人が言つてはります。明るいし、それから、結構私ら年代的には見る本もたくさんあるということですね、ゆっくりと読めていいところができた言うて喜んでおられました。

○松井会長 ありがとうございます。

他の方はいかがでしょうか。

池田委員、お願いします。

○池田委員 アンケートの中にもあるんですけども、龍華図書館はガラス張りです。西のほうは全面ガラスなので、かなり館内があつたまるんですね。適温、適度にして欲しいと書いてあるんですけど、多分暖房をそんなに温度設定高くしなくてもあつたかくなって、下手したら暑いぐらいになっちゃうんですけども、個人的にちょっとどうなのかなと思うんですけど、やっぱり光熱費というか、冷暖房費っていうのはかなりかかるんですかね。

○南八尾図書館長 龍華図書館の光熱水費というよりも、その辺はコストかからないように館内についてはガス空調でやらせてもらってるので、単価的には電気よりも軽減させてるような設定しております。

○松井会長 中座されるだけですか、また戻ってこられるんですか。

○伊藤教育次長 時間的にちょっと厳しいでしょう。

○松井会長 厳しいですね、わかりました。どうもありがとうございました。

ありがとうございます。他の方でまだ御発言されたい方、おられませんでしょうか。

念のために済みません、質問させていただいてよろしいですか。駐車場の料金の問題というのは、30分までは無料だけど、30分超えると200円ですか、300円ですか、何か料金が発生するというのは、それはもう変えようがないんでしょうか。

○西村館長補佐 ただいまの会長の御質問にお答えさせていただきます。駐車場につきましては、市の施設、一律同じ内容になっておりまして、30分間無料になりまして、その後2時間まで300円、になっておりまして、その部分につきましてはいずれの施設も同じ対応でさせていただいているというか、もう規定まで、条例規定まではめてしまっている部分になりますので、変えようがありません。よろしくをお願いします。

それに、龍華図書館につきましては、図書館が管轄する部分ではなくて、出張所の管轄になります。市の施設として管理しておりますので、その駐車場の部分についてはそういう形の運用になってございますのでよろしくお願いたします。

○松井会長 ありがとうございます。なかなか条例で規定されてると厳しいですね。やっぱり、駐車場の収入というのは市の収入源の大きな部分ですね。そういうふうな断り書きみたいなものは、利用者には一応伝わってはいるんでしょうか。そこまではなかなか難しい。アンケート書きのたびに多分書かれると思うんですけども、それを何とか周知する方法というのはなかなか難しい。

○西村館長補佐 一応、駐車場の料金に関しましての部分は、料金を見直しする段階でも当然広報とか、市全体で行わせていただいていたような経過もございます。館内にもこの金額かかりますよっていうような掲示をさせてはいただいております。ただその辺ですね、図書館として、図書館に併設している駐車場とそれ以外の駐車場での区別っていうのも一定ない形になってますので、その部分については、図書館側からすると御利用いただくときには何分幾らですよっていう掲示でしか利用者の方にお伝えできないのかなというところですね。

○南八尾図書館長 済みません、駐車場料金については、ここでの答えがいいかとかは別なんですけども、そもそも市全体の議論をさせてもらうときには、受益者負担の原則というところが一定考え方がありまして、遠方から来られる方、また自動車で来られる方が

車をとめるという、そのためには土地、その空間を占有されると。またそのために、公平性を来すために駐車料金の機械を導入していくというところでの、一定応分の負担はいただきたいというのは市の原則的な考え方がございまして、受益者負担という考え方がございます。

また、施設ごとに応じて駐車料金の設定を分けるということもございましたけども、利用者からしますと施設に応じて利用料金が異なっているということでの混乱があるということの御意見等もございましたので、四、五年ぐらい前に料金を、公共の、公の施設の、ですから総合体育館もプールもテニスコートも文化会館等も含めまして、一律的に同じ料金をさせていただいております。ですので、一応受益者負担と、それと料金の混乱を発生させないというところから、この料金をさせていただいておりますので、そのあたりはちょっと利用者の方々にも周知は徹底をさらにしていく必要があるところがございますけども、基本的な考え方はその2点から来ているというところは御理解いただきたいと思えます。

○松井会長　ありがとうございます。何とか市民の方に御理解いただけるようにということですね。

他にございませんでしょうか。時間が随分経過しておりますので、もしこれ以上ないようでしたら、次の報告事項に移りたいと思います。よろしいですか。

では報告の(2)として、妊婦を支援する図書館サービスについて、こちら説明をお願いいたします。

○西村館長補佐　それでは資料5に基づきまして、御説明のほうをさせていただきます。

先ほど、事業計画内の中にもございましたが、八尾市の市政運営の柱の一つであります「健康づくりの推進」「未来の八尾創り～子ども・子育て支援の充実～」を推進するため、市全体で取り組みを進めているところでございます。その中で、図書館として子育て支援の一環として妊婦を支援する取り組みを実施してまいります。主な目的といたしまして、市民に好評いただいております読書通帳を生かしまして、これから子どもを生み育てる妊婦を対象に読書通帳を無料交付することで、より図書館の本を借りていただき、胎内の子どもへ母親の声を聞かせることで結びつきをより強めてもらうこと、併せて出産や育児などに関する資料の案内などを通じて支援を図書館として行っていきたいと考えております。

読書通帳の無料交付に関する部分につきましては、母子手帳を持参いただいた市内在住の妊婦であれば無料で交付していくものでございます。案内等につきましては、母子健康手帳を交付する際に読書通帳を紹介するチラシを配布するとともに、ホームページや館内ポスター等で広報を行ってまいります。よろしく願いいたします。

○松井会長　ありがとうございます。

ただいまの説明に対して何か御質問、御意見ございませんでしょうか。特にございせんか、よろしいですか。

少し、説明を補足していただきたいんですが、妊婦さんに限定する理由というのがこの中に一応書いてあるんですが、その辺はちょっと補足していただければと思うんですが。

○西村館長補佐　妊婦さんに限定するというところで、乳幼児の場合につきましては、もう既に子どもさんには無料交付をいたしておりますので、そういった部分で見ますと、生まれた部分での交付はさせていただいていると。その前に、やはり妊婦の段階から交付することでより図書館の利用を図ろう、図書館の利用を多くしていただくという狙いがござ

ざいます。現状で言いますと、このままいきますと保護者の方が有料での交付対象になってきますので、その部分につきましては、子育ての観点からいきまして、妊婦については無料にしていこうというような形で考えさせていただいたところがございます。

○南八尾図書館長 若干質問が、なぜ妊婦さんを図書館として支援されるのかというところの観点の質問だったかというふうに理解しておるんですけども、妊婦に対して読書通帳を無料交付する理由っていう、なぜ妊婦さんを支援するのかという観点だったかというふうに受けて、ちょっと西村のほうの答弁とね、若干違う観点からも私のほうからも御説明をさせていただこうと思います。

そもそも図書館、八尾市、ここにも資料にも書いてありますように、八尾市全体としてこの少子化の中、また健康づくりの中、そういう大きな健康子育て支援というか、大きな観点の柱づくりの施策がありまして、それに対して八尾図書館として一体何をやっていこうかというふうなことを担当の方と色々な意見を出し合う中で、子ども、子育てに対する支援策よりさらに一歩前の、生まれる前の子どもに対してお母さんがその子どもに対する愛情をどう育てていくのかというところを、もう少し力強くしていきたい、深めていきたいなど。その中で、子ども、お腹の中にいる子どもに本を読んであげることでの、子どもが親を認識するという、親も子どもに対する、生まれてくる赤ちゃんに対する愛情が深まっていくと。そういったところで、子どもへの、親子のきずなを深めていく一つの施策というものを図書館としてやってはどうかというように考えておりました、その中でできるだけ図書館としては胎教活動を積極的に打ち出しし、読書通帳の配布を含めて、図書館の利用を促すと。さらに、胎教に関する本をそろえたり、またお母さんから本の読み聞かせの仕方を児童のほうアドバイスするなど、そういったところの、今図書館で持っている力を生かしながら、胎教のほうを支援することで子育て、生まれてくる子どもへのお母さんの愛情を深めていくと。しいては市全体の子育て、健康づくりの施策に図書館として寄与できる部分はそういった形での貢献をしていこうというところから、胎教のほうに絞らせてもらったというところがございます。

○松井会長 ありがとうございます。

ちなみに、例えば生後1カ月の赤ちゃんであっても、その赤ちゃんに対しては読書通帳を無料で交付できるわけですね。その辺のことを、だからお母様が御存じといえば御存じですか。子どもさんと一緒に図書館に来られるお母さんであれば御存じかもしれませんが、まだ余り図書館に来られていない、出産直後の方々に周知はされてるかどうかという質問なんですけど。

○南八尾図書館長 基本的には、中学生以下の方に対しては無料で交付をさせていただいております、それについては利用案内のところとか、読書通帳のチラシのところでも明記をさせていただいております。ただ、それが全ての方に周知されてるかというところになると、やはりビラの力の限界もございますので、できる限りそういったところは周知を図っていく必要はあると考えておりますが、全ての方に理解いただくためにはやはりこれからも努力していく必要があると思っております。

○松井会長 わかりました、ありがとうございます。

それでは、この件についてはよろしいでしょうか。他に特に何かございますか。大丈夫ですか。ありがとうございます。

では、報告の(3)に移りまして、今東光資料館の企画展についてということで、こち

らについて説明、お願いします。

○佐古田係長　それでは、先日の資料と同封でチラシを送付しておりました今東光資料館の企画展示について、御報告いたします。

この3月19日から行っております展示は、「東光が記した八尾のブラシ」と題して、八尾市の代表産業の一つであるブラシ産業に焦点を当てて企画いたしました。ブラシ産業については、東光の作品、小説河内風土記を初めとする作品の中にも多くの記述が見られます。企画展示の中には、実際にブラシの製造や流通に携わっておられる近在の企業の方々を初め、たくさんの皆様の御協力をいただきまして、古くは戦前のものから、ちょっと珍しい牛の骨でつくった歯ブラシであるとか、たくさんの実物ですね、現物を展示しまして、ブラシ産業の歴史も紹介しています。

また、東光の小説からの引用や、当時の写真を使ったパネルも交えまして、いわゆる河内ものと言われる今東光の小説文が執筆された当時の昭和30年代から40年代の八尾を感じていただける内容となっております。どうぞよろしく願いいたします。

○松井会長　ありがとうございました。

今日、もしお時間があるのであれば、5時までであれば入場できるんですね。時間があればぜひ御見学ください。

それでは、次は(4)のその他ということですが、これは何かございますか。

○西村館長補佐　その他ですけれども、本日ですね、協議会開会の際に、冒頭教育次長のほうから御挨拶ございましたけれども、第19期の図書館協議会も特段の緊急な事案が見られない限り、本日の会議をもって終了するということになります。この間、委員の皆様には八尾市の図書館運営につきまして熱心に御協議賜りましてありがとうございます。

また、次期第20期の件ですけれども、図書館協議会につきまして、現在、市民委員の公募を行っております。3月20日号の市政だよりのほうで募集をかけております。また、ホームページ等にも載せておりますので、よろしく願いいたします。

また、新しい協議会委員につきましては、5月の教育委員会議におきまして決定していく運びとなりますので、よろしく願いいたしたいと思います。

最後に、前回の会議録のほう、校正のほうが事務局のほうで終わっております。また、お帰りの際にお渡しさせていただきますので、3月末までにまた変更点等ございましたらこちらのほうに御連絡のほうをよろしく願いいたします。

以上です。

○南八尾図書館長　済みません、1件だけちょっと追加で。先ほど会議が始まる前に、村瀬副会長からちょっと紹介いただいたんですけども、村瀬副会長のほうから、このたび和歌の浦誕生ということで、万葉にかかわる、関する本を今回執筆されて、4月にまた発売されるということになっております。図書館としてもやはり市民に提供していきたいと思っておりますので、もし村瀬副会長、もし一言よろしければ本のPRを。

○村瀬副会長　申し訳ございません。せっかく委員もやったから買ってよと、南さんに圧力をかけたことございまして、お聞き流しいただきたいと思います。私は和歌山におりまして、いろんな和歌の浦の研究をして、今回まとめましたということで、ぜひ八尾図書館の、とりわけ志紀図書館では万葉講座をしましたので、その方たちにも見ていただきたいということで、南さんに押し売りしたら、気をきかせ過ぎてくださいますので、この場で御紹介させていただきました。ありがとうございました。

○松井会長　それでは、本日の協議会の次第は以上をもちまして終了ということですね。第19期の八尾市図書館協議会の活動自体も本日をもって終了ということになりますけれども、委員の皆様には、協議会の議事運営にさまざまな御意見を賜りまして、大変ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

では、私も会長として至らない点が多々あったかと思いますが、また、皆様とのぜひ今後とも八尾の図書館のために尽くしていくことができればというふうに思っております。その点、もし皆様とまた今後顔をお合わせすることがございましたら、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。